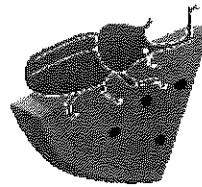


ニイヤだよい



株式会社 ニイ や

TEL 042-762-0320

7月17日午前11時に気象庁より「中国・四国地方と近畿、東海、それに関東甲信越が梅雨明けしたとみられる」と発表になりましたが、ここ数日のように急に気温が上がる梅雨明け前後は、体温を下げる体の機能がまだまだ鈍いことから熱中症になる危険性が夏(8月)の猛暑日より高いそうです。気象庁でも各地に「高温注意情報」を発表し、こまめに水分や塩分をとったり、適切に冷房を使ったりして熱中症に十分注意するように呼びかけてるそうです。昨年も熱中症について話題にしましたが、内容を少し変え熱中症に関するお話を紹介させていただきます。

熱中症・梅雨明け時期こそ注意が必要

某テレビ局のまとめによると、東日本と西日本を中心に最高気温が35度を超えた7月15~17日の3日間で熱中症とみられる症状で病院に搬送された方は、2096人で、2人が亡くなられたそうです。熱中症はこのように命に関わる危険もあるそうです。そもそも私達の体は、暑さを感じると内臓や脳などの大切な機能を守るために、体の中心部分の体温を下げようとするそうですが、暑さによって汗のもととなる体内の水分が失われ「脱水」状態になってしまふと、体内に熱がこもり、めまいや吐き気、意識障害、それに臓器の損傷などの症状が起き、重症化すると命を落とす危険まであるそうです。このような事態にならないためにもいくつかの注意点と対策を紹介させていただきます。

こんな方は特に注意！どんな対策が必要？

屋外の熱中症では、工事現場で働く方、営業などで外回りする方、部活動や学校行事でスポーツする方などが特に危険だそうです。このような方達は、汗をしっかりかくため、汗のもととなる血液中の水分と塩分が不足する事がないように、朝からしっかりと食事をとり、こまめな水分補給が必要とされています。集団でスポーツをする場合は子供達が水分補給を言いにくい傾向にあるので、言いやすい環境をつくってあげるのも必要だと言われているそうです。深酒による2日酔いや寝不足も非常に危険です。また、お年寄りや乳幼児、そして持病のある方達は、汗をかくことで体温を下げる能力が低く、屋内や夜間でも注意が必要とされております。特に、お年寄りの方は暑さを感じる体のセンサーが若い頃に比べて鈍くなっている上、のどの渇きも感じにくく、汗をかく能力も衰えているそうです。こうしたリスクの高いお年寄りの方は、熱中症にならないようより気を配る必要があるそうです。家族の方などが、水と塩分と糖のバランスが体液に近い「経口補水液」などを用意しておいたり、就寝前に、飲み物を枕元に置いたりするなどの注意も必要だそうです。

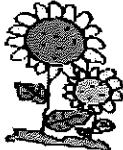
ちょっとした工夫で簡単に節電！無理な節電にご注意！

震災後、節電意識が高まっていますが、暑い日にエアコンを使わないでいるとお年寄りの方は特に命の危険もあると言われているので、エアコンの設定温度を少し上げて扇風機を併用する事により、使用電力も抑えられ効率的に冷やせるので、このように無理のない節電で、元気に夏を乗りきりましょう！また、睡眠不足が続くと熱中症になりやすくなるため、電力量の少ない夜間にエアコンを使って体をゆっくり休めることも非常に大切だそうです。



☆LPガス・灯油・風呂釜・キッチン・浴室・トイレのリフォーム・水・太陽光パネル☆

お見積り無料です。お気軽にどんなことでもお問合せください。



Niuya 株式会社 ニイ や TEL 042-762-0320



